

## 調査研究事業について

当館では、開館以来、分野ごとにテーマを設定し、計画的に調査研究を行ってきました。令和5年度からは、自然・考古・歴史・民俗・美術の各分野で展示企画に結び付くテーマを新たに設定し、年次計画を立てて調査研究を実施することにしました。

その成果の概要は当館ホームページで公開し、成果の詳細は研究報告や論文として「青森県立郷土館研究紀要」に掲載します。

また、再開後にこれらの成果をもとに特別展等を開催する予定です。

### (各分野の調査研究の概要)

#### ○自然分野「青森県の鉱山調査」

(令和5年度～令和10年度)

青森県内で稼行していた比較的規模の大きな鉱山について、自然史及び産業史の観点から調査を行い、鉱山史や産出した鉱石の利用等についてまとめる。

年次計画（予定）

- 1年次（令和5年度）青森市周辺の鉱山跡の調査
- 2年次（令和6年度）上北郡の鉱山跡の調査
- 3年次（令和7年度）中津軽郡の鉱山跡の調査
- 4年次（令和8年度）下北郡の鉱山跡の調査
- 5年次（令和9年度）南津軽郡及び東津軽郡の鉱山跡の調査
- 6年次（令和10年度）上記地区内の補充調査必要地区の調査

#### ○考古分野「青森県内出土考古資料の所在調査」

(令和5年度～令和9年度)

##### ①県外にある青森県ゆかりの考古資料の活用

青森県の考古資料が江戸時代後半以降、全国的に注目され続けてきたことを県民に伝える里帰り展示を当館再開後に実施する。

##### ②青森県内高等学校所蔵・旧蔵資料の活用

戦後から昭和40年代まで高校生による発掘調査が行われていた。この時代、高等学校部活動での社会科調査研究が盛んであり、歴史・地理・民俗分野など多岐に及ぶ。現在この活動に関する資料や記録類は少なくなっている。当時の資料を調査記録し、これらを教育現場の郷土学習に活用してもらう。

年次計画（予定）

- 1年次（令和5年度）県外資料文献調査、関東地方資料調査、県内高等学校へ資料調査
- 2年次（令和6年度）県外資料文献調査、関西地方資料調査、県内高等学校へ資料調査

## 料調査

3年次（令和7年度） 県外資料文献調査、中部地方資料調査、県内高等学校へ資料調査

4年次（令和8年度） 関東・東北地方資料調査、県内高等学校へ資料調査

5年次（令和9年度） 中国・四国・九州地方へ資料調査、県内高等学校へ資料調査

## ○歴史分野「青森県の交通史」

（令和5年度～令和9年度）

近世・近現代の青森県を中心とした、主として陸上の交通の様相を知る。

年次計画（予定）

1年次（令和5年度） 津軽地方の各博物館へ資料調査

2年次（令和6年度） 津軽地方の各図書館へ資料調査

3年次（令和7年度） 南部地方の各博物館へ資料調査

4年次（令和8年度） 岩手県の各博物館、東京都内の各博物館へ資料調査

5年次（令和9年度） 補充調査

## ○美術分野「青森県関係の美術作品及び資料の調査研究」

（令和5年度～令和8年度）

青森県の昭和・平成期に制作された美術作品の中から、館蔵の鈴木正治の作品をテーマ毎に整理し、制作動機や背景、制作方法について調査・分析して目録にまとめる。

年次計画（予定）

1年次（令和5年度） 鈴木正治の作品テーマ「山・十和田湖」「後藤伍長」について調査・分析

2年次（令和6年度） 鈴木正治の作品テーマ「りんご」「○△□」について調査・分析

3年次（令和7年度） 鈴木正治の作品テーマ「角巻」「ゴディバ」について調査・分析

4年次（令和8年度） 鈴木正治の作品テーマ「いきもの」「植物」について調査・分析

## ○民俗分野「現代社会の中の民俗」（令和5年度～令和11年度）

これまで青森県立郷土館が調査し、記録してきた、県内各地域における伝統的な衣食住、生業、人生儀礼、信仰、年中行事、民俗芸能等が、近現代の各種産業と流通システム、観光産業の発達、マスメディアや消費文化の進展等による社会変化と人々の生活形態の変化によって変容している事例を確認し、記録して分析を加える。

その成果は、近代から昭和前期を対象としてきたこれまでの当館民俗展示の内容を、その後の昭和後期から現代までの新しい時代もとらえた内容へと更新していくための資源として活用する。

年次計画（予定）

- 1年次（令和5年度）主に津軽地方に関わる館蔵資料及び既存の報告書類の再確認と予備調査を通じた新たな調査項目の検討と設定
- 2年次（令和6年度）主に下北・南部地方に関わる館蔵資料及び既存の報告書類の再確認と予備調査を通じた新たな調査項目の検討と設定
- 3年次（令和7年度）下北地方でのフィールドワーク調査による事例採集
- 4年次（令和8年度）南部地方でのフィールドワーク調査による事例採集
- 5年次（令和9年度）津軽地方でのフィールドワーク調査による事例採集
- 6年次（令和10年度）類似事例の比較のための県外調査（北海道、北東北等）
- 7年次（令和11年度）調査データ総括